

<h1>事故報告書</h1>	施設長	施設長補佐	援助課長	医務課長	相談員	係長	担当

フルーツ・シャトーよいち

フリガナ	●●●●	男 <input checked="" type="radio"/> 女 <input type="radio"/>	要介護 3	移動	<input checked="" type="checkbox"/> 独歩 <input type="checkbox"/> 歩行器 <input type="checkbox"/> 杖歩行 <input type="checkbox"/> 車椅子
本人氏名	●●●● 様	85 歳			<input type="checkbox"/> その他 ()
報告者	●●●●			発生(発見)日時	平成25年12月08日(日) 22:40 分頃

場所	<input checked="" type="checkbox"/> 居室 <input type="checkbox"/> ホール <input type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 拠点707 <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> 階段 <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 送迎車内 <input type="checkbox"/> その他 ()
----	---

状況	<input type="checkbox"/> 転倒 <input checked="" type="checkbox"/> 転落 <input type="checkbox"/> 誤食 <input type="checkbox"/> 誤嚥 <input type="checkbox"/> 誤薬 <input type="checkbox"/> トラブル <input type="checkbox"/> 単独外出 <input type="checkbox"/> 介護中 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他 ()
	居室より、ドスンという物音と『痛い』という声聞こえた為訪室する。電気点けると床の上で左半身を下にし、うずくまった状態になっている●●氏を発見する。ベッドからは布団も半分床に落ちていた為、布団ごとベッド上から落ちたのではないかと考えられる。どうしたのか尋ねると『滑ってお尻がつけた』と話される。痛みの有無確認すると『お尻が痛い。震える感じもする。』と話され、常時右大腿部さすられている様子あり。動かすと痛いようで、顔を顰められる様子見られる。また、立ち上がりは介助にて可能だが、下肢が少し震えている様子あり。
	<施設内報告> 7:30 ●●援助員より援助課長へ事故の状況と状態報告。 8:45 ●●副主任援助員より施設長へ事故状況と状態報告。 8:58 ●●副主任援助員より施設長補佐へ事故状況と状態報告。 12:10 ●●副主任援助員より施設長へ受診の結果入院となる旨ご家族へ伝え改めて謝罪した事を報告。 12:20 ●●副主任援助員より施設長補佐へ受診の結果入院となる旨ご家族へ伝え改めて謝罪した事を報告。

症状	<input type="checkbox"/> 無傷 <input type="checkbox"/> 表皮剥離 <input type="checkbox"/> 擦過 <input type="checkbox"/> 切傷 <input checked="" type="checkbox"/> 内出血 <input type="checkbox"/> 火傷 <input type="checkbox"/> 腫れ <input type="checkbox"/> 変色 <input type="checkbox"/> 熱感 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (骨折)	部位	右坐骨骨折
	右大腿部に10円玉位の薄い内出血の様な赤み確認する。触診行うも右大腿部以外痛みの訴え無し。右大腿部の痛み強いようで、触ると顔を顰められる様子あり。		

対応	<input checked="" type="checkbox"/> 様子観察 <input checked="" type="checkbox"/> 湿布 <input type="checkbox"/> 冷却 <input type="checkbox"/> 吐かせる <input type="checkbox"/> 吸引 <input type="checkbox"/> 止血 <input checked="" type="checkbox"/> 受診 <input type="checkbox"/> その他 ()
	職員介助にてベッド上へと移動して頂く。右大腿部に冷湿布2枚貼付し様子観察行い、ベッド上で横になる際に、患部を直接圧迫しないよう、左側臥位になって頂く。 同日11:30余市協会病院整形外科受診、右坐骨骨折の為入院となる。

バイタルサイン	体温	36.6℃	血圧	113 / 65 mmHg	脈拍	66 回/分	SP02	%	計測時間	22:40
---------	----	-------	----	---------------	----	--------	------	---	------	-------

要因	<input checked="" type="checkbox"/> 見守り不足 <input type="checkbox"/> 知識・技術不足 <input type="checkbox"/> ルール不遵守 <input type="checkbox"/> 情報不足 <input type="checkbox"/> 環境・設備 <input type="checkbox"/> 設備・点検不足 <input type="checkbox"/> 人為的問題 <input type="checkbox"/> その他 ()
原因	事故当日は午後10時頃まで眠れない様子がありタンスを開けたり閉めたりし、片付けをしている様子があった為、夜勤職員は10分おき程度の間隔で様子を見ていた。タンスを開けたり閉めたり片付けるような行動や執着のあるぬいぐるみを出したりしまったりする行動は普段から夜間よく見られている行動であった。 午後7時頃を最後にトイレに行っていなかった為、午後10時頃トイレの声かけをしたが本人より断られ、トイレ誘導は行わなかった。●●氏は起きた時には布団は必ずたたみ、整理整頓する習慣があった。事故の状況では布団が床に落ちていることから、ベッドから布団と一緒に転落したと考えられる。その理由としてぬいぐるみを探しにタンスまで行く途中やベッドに戻る途中で転倒した可能性、尿意をもよおして起きた際にベッドから転落したのではないかと推測される。

事故防止対策	ベッドからの転落防止の目的や安全に起き上がることができるように介助バーの設置を検討する。排泄の時間の統計を取り、排泄のケアに活かす。本人が居室内の移動を安全にできるような環境づくりの検討。退院後の本人の状況を含めて、対応を検討することとした。
	加ワレインの必要性について <input type="checkbox"/> 不要 <input checked="" type="checkbox"/> 必要

家族への説明	平成25年12月09日(月)	説明方法	<input type="checkbox"/> 面会 <input checked="" type="checkbox"/> 電話	説明職員	●●●●
	家族氏名	●●●●氏	続柄	次男	
	8:00事故の状況・経過・対応について連絡・謝罪させていただく。 「よろしくお願ひします」とお言葉を頂く。 12:00右坐骨骨折の為入院となった旨電話にてお伝えし、改めて謝罪。				